

投稿規定

2017年4月5日改訂
一般社団法人日本自己血輸血学会
編集委員長 牧野茂義
理事長 脇本信博

2017年（平成29年）刊行の第30巻以降もweb投稿ではなく、E-mailで論文を送信下さい（CDの送付は中止とします）。

なお、査読はwebで行います。投稿規定を参照の上、投稿ください。

投稿に関する重大な原則

- 筆頭著者（連絡責任著者）と共同著者はともに日本自己血輸血学会会員であることが必要です。
- 単著の場合でも、論文指導者（論文の責任医師）の論文校閲を必ず受けてください。
- 本文原稿と図表原稿とは別ファイルで送付ください。本文中への図表の貼り付けはご遠慮ください。
- 図表（写真を除く）は提出前に白黒（モノクロ）印刷で識別可能か確認ください。
- 表題頁は規定の MS-Word を使用してください。
- チェックリスト（ワードまたは PDF）の全項目にチェックし提出ください。チェックのない論文は受け付けられません。
 - 1) ワード文書は「はい」を、
 - 2) PDF 文書ではチェックボックスに「レ」を電子入力ください（チェックリスト掲載見本を参照）。
- COI 報告書について
筆頭著者（連絡責任著者）は投稿時から遡って過去 2 年間以内における 利益相反（COI）状態を COI・様式 2-A（学会会誌和文投稿時提出書式）を用いて提出しなければなりません。共著者の報告書も筆頭著者（連絡責任著者）がまとめて提出ください（報告書様式は学会ホームページから down load 可能）。
COI 報告書の記載内容は、論文末尾 謝辞（Acknowledgments）、または引用文献の前に掲載ください。規定された COI 状態がない場合は、「著者の COI 開示：本論文発表内容に関連して特に申告なし」と記載ください。

論文募集資格

1. 論文等の内容

原著，総説，報告，症例報告，短報，機器紹介，論文記事（二次掲載），その他，など，自己血輸血の臨床，研究に貢献しうるものとする。

なお，ヒトを対象とした研究は世界医師会総会で採択されたヘルシンキ宣言を遵守して行われたものであること，また，動物を扱った研究は総理府告示「実験動物の飼育及び保存等に関する基準」に基づいた各施設のガイドラインに則って行われたものであることが必要である。

2. 投稿資格

全ての著者が会員であることを原則とする。他誌に掲載されたもの，あるいは投稿中のものは受け付けない（二次掲載 acceptable secondary publicationについては巻末を参照）。

論文投稿

1. 投稿ファイルの準備

- **表題頁，論文，図表，COI 報告書，チェックリストをすべてコンピューター入力した上で，それぞれ別のファイルとして用意する。**本文中への図表の挿入は避けること。
- **論文（本文原稿）には論文タイトル（表題）を入れないこと。**

1) 表題頁（規定の MS-Word 使用）

- 1) 論文種別（原著，総説，報告，症例報告，短報，機器紹介，論文記事，その他）
- 2) 表題・著者名・所属施設名・3語以内のキーワード（すべて日本語・英語併記）
- 3) 原稿内訳（本文の頁数，図の枚数，表の枚数）
- 4) 筆頭著者（連絡責任著者）の氏名，所属施設・部署名，〒，住所，電話番号，携帯電話番号，Fax 番号，E-mail アドレス

2) 論文（MS-Word のみ）← 確認用の PDF 単独は不可

本文（論文タイトルは除く），文献，図表のタイトルと説明（legend）

3) 図表（MS-Word，パワーポイント，エクセル，JPEG）：原則として PDF は禁止

4) COI 報告書（規定の MS-Word または PDF 使用）

電子入力または手入力後に署名押印し，スキャン後に PDF 文書を作成

5) チェックリスト（規定の MS-Word または PDF 使用）

チェック方法は前項の重大な注意を参照

2. 論文の採否

編集委員の査読を経て，編集委員会の協議のうえ採用を決定する。なお，論文体裁の統一をはかるため，編集委員会の責任において字句・図・表の訂正を行うことがある。

3. 送付方法と送付先（E-mail送信のみ可，CD送付は不可）

- 1) MS-Wordなどのファイル（表題頁，論文，図表，COI報告書，チェックリスト）
- 2) ファイルをPDF化したもの（確認用）
- 3) 上記1)と2)の双方をメールで送信すること

送付先：<E-mail : editorial@jsat.jp（日本自己血輸血学会編集事務局）>

執筆要綱

1. 論文記載上の注意

- 1) 全ての頁に通し頁番号を付ける。
- 2) 10.5ポイントMS明朝を使用し、数字（算用数字）、アルファベットは半角（century）に統一する。
- 3) 本文の文章の配列は（1）はじめに（序文）、（2）対象・方法（もしくは方法）、（3）結果、（4）考察、（5）結語、（6）文献、（7）図表のタイトルと説明（legend）とする。
- 4) 論文は口語体、当用漢字、現代かなづかいとし、改行の際は先頭の1文字をあける。文体は「です・ます」調ではなく、「である」調に統一する。
- 5) 用語には日本輸血学会認定の用語（日本輸血学会雑誌 40(4): 会告Ⅲ1～17, 1995）を使用。
- 6) 文中の外国語は当該国語に準じること。ただし日本語化したものなどはカタカナ、または日本語を用いる。
(例) catheter →カテーテル, cardiopulmonary bypass →人工心肺
- 7) 薬品名は一般名とし、慣用されているものはカタカナを使用する。
(例) リドカイン, ジギタリス, ヘパリン
商品名の方が理解されやすい場合には以下のごとく品名の右肩に® を付ける。
(例) isosorbide dinitrate → ニトロール®
- 8) 送付された図・表はすべて縮小される。縮小されて十分読みうる文字、図形などで構成されていることにご留意すること。なお、送付された図、表、写真などは原則として返却しない。

2. 論文の長さの制限

- 1) 原著：原則として刷上り10頁以内
- 2) 総説：原則として刷上り12頁以内
- 3) 報告、症例報告、機器紹介、その他：原則として4頁以内

3. 文献の記載法

- 1) 文献は必要最少のものに限り20編程度とする。
- 2) 文献は本文中に出てくる順序で、本文の末尾にまとめて記載する。本文中の該当部には番号、1)、2)、3)・・・を右肩に付ける。
本文中の右肩に引用箇所が明示していないものは文献とは認めない(参考文献は認められない)。
- 3) 文献の書き方
(1) **雑誌の場合**：著書名(first author を含め3名まで、以下“他”または“et al.”)；論文名。雑誌名(略号はIndex Med. 採用のもの) 巻：頁(初めと終わりの頁)、発行年する。
下記記載例参照のこと。**抄録の場合は末尾に「(抄録)」を記載する。**
 - 1) Schaff HV, Haver JM, Bell WR, et al.: Autotransfusion of shed mediastinal blood after cardiac surgery (A prospective study). J Thorac Cardiovasc Surg 75: 632-638, 1978
 - 2) 牧野茂義：虎の門病院における自己血輸血のリスクマネジメント。自己血輸血25：19-25, 2012
 - 3) ○○ ○○：副作用・・・・・・・・の実態調査。自己血輸血 21：S42, 2008 (抄録)

(2) 書籍の場合：例aあるいは例bとする。

- (例a) 著者名（雑誌の場合と同じ）：論文名．書籍名，編集者名，発行者，発行地，発行年，掲載頁（初めと終わりの頁）
寺山和雄：頸椎後縦靭帯骨化．新臨床外科全書17 巻1，伊丹康人編，金原出版，東京，1978，pp191-222
- (例b) 著者名（雑誌の場合と同じ）：論文名．編集者名，書籍名，発行者，発行地，発行年，掲載頁（初めと終わりの頁）
Ganong WF: Review of medical physiology. 6th ed., Lange Medical Publications, Tokyo, 1973, pp18-31
Maquet P: Osteotomies of the proximal femur. In: Reynolds D, Freeman M, editors. Osteoarthritis in the young adult hip, Edinburgh, 1989, pp 63-81

別刷

- 別刷希望者に対し，最少30部から実費で提供する。
- 著者校正の際に必要な部数を記入すること。

版權

- 本誌に掲載された論文の著作権は一般社団法人日本自己血輸血学会に帰属するものとする。
- 本誌に掲載された論文はインターネットで公開する。
- 雑誌および電子引用に際して得られる許諾料は日本自己血輸血学会の収入とする。

二次掲載について

日本自己血輸血学会では，他の言語ですでに掲載された論文（オリジナル論文）を和文で二次掲載することは二重投稿ではなく正当なもの（acceptable secondary publication）と認める。以下の点を遵守すること。

その場合は，論文記事（二次掲載）として投稿すること。

- 1) すでに掲載された論文であること。
- 2) 著者はオリジナル論文の編集者から当学会誌への二次掲載許可書を得ていること。
- 3) 論文記事として投稿する際に，前述の二次掲載許可書とオリジナル論文のコピーあるいは別刷りを添付すること。
- 4) オリジナル論文と論旨を変えないこと。執筆者は同一（順不同）であること。
- 5) 二次掲載版のタイトル・ページの脚注に，その論文の全体若しくは一部がすでに掲載されている旨を明記し，さらに初出文献も示すこと。
例：この論文記事は，「・・・」に最初に報告された研究に基づくものである。
- 6) 文献を記載する際，日本語文献は日本語で表記すること。

以上